

今の塩尻市は目に見えて元気が無くなっています。商店街にはシャッターが増え、大手ショッピングセンターも撤退し、こんな市の現状を見て「本当に必要な街づくりがされてこなかった」と感じました。



東山 増澤 真さん

塩尻は他の地方と比べれば交通の便も良く、特産品もあるのに、これらを地域振興に利用し切れてないのは大変もったいない事だと思えます。しかし、今の若い人たちの中にも「シャッター商店街を何とかしたい」など、地域の事に関心がある人はいるはず。例えば私の周りにも、「シャッター商店街を様々な産業のベンチャー企業などに安価に貸し、ビジネス支援するシステムを作ったら」という考えを持っている友人がいます。こつこつ若い世代が意見交換して市を盛り上げて行けるきっかけ作りになる様な機会があればと思います。

市民の声

昨年、市政五十周年を迎えた塩尻市は、記念する様々なイベントを開催し、市民多数の参加のもとに盛況の中にとり行われました。私もそれに参加する機会に恵まれました。いくつかの出会い、楽しい思い出となり感謝しています。本年は市民交流センター、広丘駅前広場完成等、多くの事業が進められ、新しい歴史をつくる重要な一年になると思います。



片丘 小松政幸さん

世相は不透明な状況が続いていますが、市内商業圏の振興と周辺地域の活性化を目指し期待しているところです。

なお、各戸へ配布されている市議会だよりは、行政全般にわたる項目ごとに構成されて読み易くわかり易くとも良いと思えます。これからも開かれた議会の取り組みを進められ、より一層地域と協働して、行政が更に身近な関係で塩尻市の良さが感じられるようなまち、地域づくりをしたい。

市議会レポート

議会運営委員会視察報告

議会運営委員会（青柳充茂委員長）は2月1、2日の両日、議会基本条例をテーマとして、埼玉県所沢市と静岡県菊川市の両市議会を行政視察。所沢市議会は全議員が納得のゆく条例、菊川市議会は実効性のある内容を目指したのが大きな特徴でした。所沢市議会は平成21年3月、



所沢市で議会基本条例について説明を受ける

議会基本条例を制定。前年6月に特別委員会を設置し、議員対象の報告会や意見交換会をはじめ、素案へのパブリックコメントの募集や公聴会、ミニシンポジウムによる市民との意見交換なども重ねた。視察では、「反問権」「議会報告会」「市民参加」の3つが難点となるとの指摘を受け、参加議員から活発な質疑や意見が交わされた。菊川市議会は同21年2月に議会基本条例を制定。2年前に政務調査費の用途を発端とする、議員に対する不信感の高まりが基本条例制定へのきっかけ。内容の充実を目指して十分に検討を重ねた上で、昨年4月、改選前の全議員により採択し、13対8の賛成多数で可決された。塩尻市側からは、市長の反問権や議会報告会のあり方などについて質問があり、運用面の課題に理解を深めました。

6月定例会の予定

| | |
|------|-------|
| 6月4日 | 開会日 |
| 11日 | 一般質問 |
| 14日 | |
| 15日 | |
| 16日 | 委員会審査 |
| 17日 | |
| 18日 | |
| 23日 | 閉会日 |

会議の日程は変更になる場合があります。間近になりましたら議会事務局へお問い合わせください。（ホームページでもお知らせしています）
議会事務局
TEL (0263) 52-0280 (内線1411)
URL <http://www.city.shiojiri.nagano.jp>

議会あれこれ

◆国では「オザチル」、市では「オグチル」。いずれも「ミスチル」という人気ポップスグループとは、縁もゆかりもございません。「チルチルミチル」とも同様です。それにしても、市民が歓喜するようなハーモニーに、なぜならないのでしょつか…。

◆今議会は「イトーヨーカ堂」撤退あとを市による買い取りが最大の焦点であった。特別委員会では3時間におよぶ議論の末、9千800万円の買い取り価格削除の修正動議が否決された。議会は活性化されたが市街地も活性化されることを心から願う。

◆修正案が提出された今議会は、いつもは行政側に質問をする議員が、逆に答弁する側になった。議員から議員への質疑は、傍聴者から見ても本来の議会らしい姿に映ったのではないだろうか。「議員力」という言葉がある。選挙以外の議員力が求められている。

議会広報委員会

- 山口 恵子 ○古畑 秀夫
- 金子 勝寿 石井 新吾
- 永井 泰仁 森川 雄三
- 青柳 充茂 中原巳年男
- 鈴木 明子

◎委員長
○副委員長